

行政評価における課題

評価の内容に関すること

評価シートの構成等について

- ・ 記載内容を理解するのが難しい
※内容が専門的かつ難解、記載項目が多く読みにくい等
- ・ 現在の評価区分が妥当か検討する必要がある
※例えば、「目的（目標水準）の達成度」の場合、「達成度が高い」と「達成度が低い」の二つの評価区分となっていること等

指標について

- ・ 指標の設定が適切でない事業がある
※事業と指標との間に明確な因果関係があるか、アウトカム指標となっているか、数的指標であるか等
- ・ 指標以外の効果についての説明が不十分な事業がある

評価の方法に関すること

評価の対象について

- ・ 評価対象である事業の、施策体系における位置付けが分かりにくい
- ・ 長期に渡る事業の場合、年度間における実施内容や評価内容に差がなく、単年度の評価が難しい
- ・ 評価対象とする施策及び事業を整理する必要がある

評価の作業について

- ・ 行政評価を実施する上で過度な負担がかかっていないか、適宜見直していく必要がある（評価を実施する上でも効果性・効率性を重視する）
- ・ 実際の評価の中で視察を行う

評価の運用に関すること

行政評価の反映について

- ・ 外部評価意見を踏まえた区の対応状況（総合判断が出た後の実際の取組状況）を明らかにする必要がある

評価の文化の定着、深化について

- ・ 職員が行政評価の意義をより一層理解し、内部評価の充実を図る必要がある